

平成24年第2回

荒川区教育委員会定例会

平成24年1月27日
於) 荒川区役所特別会議室

荒川区教育委員会

平成24年荒川区教育委員会第2回定例会

1 日 時 平成24年1月27日 午後1時30分

2 場 所 特別会議室

3 出席委員 委 員 長 小 林 敦 子
委員長職務代理者 青 山 侖
委 員 高 野 照 夫
委 員 高 田 昭 仁
教 育 長 川 寄 祐 弘

4 出席職員 教 育 部 長 新 井 基 司
教育総務課長 入 野 隆 二
教育施設課長 丹 雅 敏
学 務 課 長 平 賀 隆
社会教育課長 佐 藤 泰 祥
社会体育課長 泉 谷 清 文
指 導 室 長 武 井 勝 久
南千住図書館長 東 山 忠 史
書 記 新 井 裕
書 記 大 谷 実
書 記 浅 沼 佳 子
書 記 湯 田 道 徳
書 記 渡 部 由 香

(1) 審議事項

第1号 公立学校教職員の処分について

第2号 荒川区職員定数条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について

第3号 平成24年度荒川区一般会計予算（教育費）に対する意見の聴取について

(2) 報告事項

ア 平成23年度 文部科学大臣優秀教員表彰の受賞について

(3) その他

○委員長 ただいまから荒川区教育委員会第2回定例会を開催いたします。

それでは、出席委員数の御報告を申し上げます。5名出席でございます。

会議録の署名委員は、青山委員及び高田委員をお願いいたします。

教育長、あいさつをお願いいたします。

○教育長 本日の審議、よろしくをお願いいたします。

○委員長 平成23年8月26日開催の第16回定例会の会議録及び9月9日開催の第17回定例会の会議録が机上に配付されております。

本会議録につきましては、前回の定例会にて配付し、この間、確認等をしていただきました。

本日、特に委員から意見等がなければ承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 それでは、承認いたします。

また、平成23年9月16日開催の第18回定例会の会議録及び10月14日開催の第19回定例会の会議録が机上に配付をされております。

次回の定例会で承認についてお諮りいたしますので、次回までに確認し、何かお気づきの点があれば事務局まで連絡をお願いいたします。

それでは、本日の議事日程に従いまして議事を進めます。

本日ですが、審議事項が3件、報告事項が1件ございます。

まず、議案の審議を行います。

議案第1号「公立学校教職員の処分について」ですが、人事に関する議案でございますので、会議規則第12条の規定により会議を非公開とすることに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 異議ないものと認めます。議案第1号についての会議は非公開とし、人事案件の審議を行います。

それでは、事務局側説明者を除き、退出をお願いいたします。

〔事務局職員退出〕

〔議案第1号非公開により審議終了後、事務局員入室〕

○委員長 それでは、委員会を再開いたします。

議案第2号「荒川区職員定数条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について」を議題といたします。

議案第2号について説明をお願いいたします。

○教育総務課長 それでは、教育総務課から御説明をいたします。

議案第2号「荒川区職員定数条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について」でございます。

提案理由でございますが、平成24年荒川区議会第1回定例会に議案を提出するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、区長より教育委員会の意見の聴取があったものでございます。

内容でございますが、荒川区におきましては、区行政の効率的かつ効果的な執行を図るため、毎年各所属におきます常勤職員の状況について精査し、定数の見直しを行っているところでございます。このたび見直しの結果、24年度における職員定数について、この議案書に記載のとおり改める必要があるため条例の改正が行われるというものでございます。

改正内容でございますが、今回、区長の事務局の職員につきましては、24年度に就労支援組織の新設等を図るための増員が進められる一方で、ふれあい館の整備に伴う執行体制の見直しや給食調理の委託拡大等により減員を行い、区長部局といたしましては全体として7名の定員減となっているところでございます。

また、教育委員会の事務局及び教育機関の職員に関しましては、現在の定数223名を24年度におきましては225名に2名増員をするというものとなっております。

この内訳でございますけれども、1点は、今回の区長部局におけます見直し、ふれあい館の整備に伴う執行体制の見直しや給食調理の委託拡大等によりまして、結果として余剰となりました保育園給食の調理やひろば館の用務等に従事しておりました職員の能力を引き続き学校用務として活用するため、教育委員会が学校職員として6名の受け入れを行うことを見込んでございます。

同時に、本年3月末に定年退職等により減員となります学校養護職員が5名予定されておりますので、教育委員会の所管でございます学校職員といたしましては、定員が差し引き1名の増となるものでございます。

2点目といたしましては、事務局指導室の事務執行体制を強化するために、1名の事務職員の配置を予定しております。教育委員会関連といたしましては、あわせまして2名の定員増となっているものでございます。

なお、関連する条例の条文につきましては、2ページ目の案文のとおりでございます。施行期日につきましては平成24年4月1日を予定しているところでございます。

議案の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 では、ただいまの説明につきまして質疑はございませんでしょうか。

○教育長 支援課をつくるのですか。

○教育総務課長 就労支援のための専門の組織ということで、就労支援課を24年度に設置をする

という予定になってございます。

○高野委員 就労というのは中学生の卒業生をということですか。

○教育総務課長 この間、大変厳しい経済環境、雇用環境のもとで失業者が増加しています。最近では、就労能力のある比較的若い世代の中にも生活保護を受給せざるを得ない人が増えているというような状況がございませう。

引き続き厳しい雇用環境の中、なかなか働き口が見つからないといったような状況があるのですけれども、そういった方々を中心にして、より円滑に就労の道につなげていこうということで、区としても就労支援のための専任の組織をつくろうと考えたものでございませう。

これまでは、ハローワーク足立の協力を得て、町屋駅前に「JOBコーナー町屋」を開設し、職業相談や紹介などを行ったり、生活保護受給者に対しては、所管しております生活福祉課の中に就労支援員という形で、職安のOBを配置して相談や職安への同行支援等を行ってきたところですが、今回さらに取り組みを強化するために就労支援組織、生活保護受給者にとどまらず区民を対象にした就労支援を行うための専任の組織をつくろうということでございませう。

○委員長 質疑、大丈夫でしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 質疑を終了いたします。

議案第2号について意見はございませうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 それでは、討論を終了いたします。

議案第2号について異議はないものと認めませう。議案第2号「荒川区職員定数条例の一部を改正する条例に対する意見の聴取について」は、異議なしと回答をいたしませう。

続いて、議案第3号「平成24年度荒川区一般会計予算（教育費）に対する意見の聴取について」を議題といたしませう。

議案第3号について説明をお願いいたします。

○教育総務課長 それでは、引き続き教育総務課から議案第3号につきまして御説明をいたしませう。

「平成24年度荒川区一般会計予算（教育費）に対する意見の聴取について」でございませう。

初めに、提案理由でございませうが、平成24年荒川区議会第1回定例会に予算に関する議案を提案するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき区長が教育委員会の意見の聴取を行ったものでございませう。

御手元の議案書でございませうが、内容欄に24年度の教育予算の内容を記載してございませう。24年度の教育予算案の規模でございませうけれども、上段の歳入につきましては33億5,191万6,000円、前年度と比較をいたしませうして5億7,235万4,000円の増となっ

てございます。

また、下の段の歳出につきましては107億2,500万円で、前年度と比較をいたしまして4億3,000万円の増となっているところでございます。

議案書に記載の各事項の内訳といたしまして、本日、委員の皆様の前席に幾つかの資料を御用意させていただいております。そのうち7枚目になりますけれども、平成24年度教育費予算総括表という資料がございます。それから、その次に財政規模ということで、平成19年度から24年度までの一般会計並びに教育費の推移をまとめた資料がございます。この2枚の資料を中心に本日御説明を差し上げたいと思っております。

御説明に入ります前に、今年度の予算の編成に当たっての基本的な考え方につきまして御報告をいたします。

予算編成に先立ちまして、本年7月末に副区長より見積りに当たっての依命通達が出されました。既に当委員会にも概略御報告をしておりますけれども、今回の予算編成作業に当たりましては、厳しい財政状況を踏まえ、全職員が改めて危機感を持ち、すべての事務事業についてこれまで以上に徹底した見直しを行わなければならないこと。

また、具体的には施設整備費等、投資的経費を除いた一般経費、経常的経費については必ず見直しを行い、コスト縮減に努め、原則として23年度の予算額の5%の減の範囲内で見積もること。

また、新たな事業や既存事業の充実を要求するに当たっては、既存事業の見直し、再構築を行い、削減に努めることなどを求めているところでございます。

この間、事務局におきましてもその通達を踏まえ、見積作業を進めてまいりました。

荒川区におきましては自主財源の比率が低く、区の歳入の6割を占めます二つの財源、特別区税と特別区財政調整交付金の増減が財政運営に大変大きな影響を及ぼすこととなります。荒川区におけます特別区税につきましては、この間の人口増が反映をいたしまして17年度以降穏やかに増加をしてまいりましたが、厳しい雇用環境や勤労者世帯の所得の低迷等を反映し、最近では平成21年度をピークに前年割れとなっているような状況がございました。

また、特別区財政調整交付金についても低迷が続いているといったような状況がございます。

先日、1月20日に東京都がプレス発表をいたしました平成24年度の都区財政調整交付金のフレームの中では、24年度におきます特別区民税につきまして23区全体では前年度と比較をいたしまして2.5%のマイナス、それから、特別区全体の財政調整交付金の総額につきましても前年度比で2.7%の減と見込まれており、大変厳しい状況が引き続くものといった予想がされるところでございます。

一方、今回まとまりました区の予算案でございますけれども、扶養控除の一部廃止・縮小の影

響によりまして、特別区民税は増加をしてございます。あらかじめの予想に反しまして4億円ほど、3.1%の増加を見込んでおりますけれども、特別区財政調整交付金につきましては景気低迷による影響などにより、23億円、6.6%という大変な大きな減となっております。

これら二つの主要財源の計で、合わせまして約19億円、前年度に比べまして区の24年度歳入における特別区民税並びに特別区財政調整交付金の計につきましては3.8%減となるなど、区財政を取り巻く環境が引き続き厳しいことをあらわしているものとなっております。

御手元に財政規模と、表題をつけました19年度以降の一般会計及び教育費の推移をまとめた横長の資料がございますけれども、これを見ていただきますと、24年度の一般会計、総額でございますが、記載のとおり874億7,000万円、前年度比で4.5%の減となっております。昨年、平成23年度が915億7,000万円ということで、前年度比で12%増、過去最大の大変積極的な予算を計上した経緯がございます。

23年度におきましては特養ホームや障害者施設、さらには、ふれあい館や保育園の整備にも取り組んできたところでございますけれども、逆に24年度は、これら大型施設に要する整備経費の減もあり、先ほどの大変厳しい歳入環境も踏まえ、今回4.5%の減といったような一般会計全体での予算となっております。

一方、教育費予算でございますけれども、24年度につきましては107億2,500万円で、前年度に比べ4.2%の増となっております。

この107億2,500万円の予算でございますけれども、主な投資的経費でございます尾久八幡中学校の建設事業費が26億3,000万円ほど計上をされてございます。これを除きますと実質、経常的な経費は概数で81億円程度になろうかと思込んでございます。

また、前年度、23年度につきましては、同じく尾久八幡中学校の建設事業費が15億9,000万円、それから、峡田小学校の運動場用地の取得経費が2億4,000万円等ございましたので、こういった投資的経費を除きますと、前年度の経常的な経費は概数で85億円程度と推定しているところでございます。

このように考えますと、経常的経費の実態としては、やはり前年度比で教育費につきましても4%から5%程度の減となっているものと考えているところでございます。

この減でございますけれども、この間、事務局各課におきまして実績を精査して、それを踏まえることを基本に、必要な事業につきましては可能な限り前年度の水準を確保できるよう努力をしております。結果といたしましては、見かけ上、経常的経費が4%ないし5%程度の減となっておりますけれども、おおむね現在の教育活動を維持するために必要な予算につきましては最低限確保できているものと考えているところでございます。

その内訳でございますけれども、ただいまの資料の前の資料でございますけれども、総括表、

横長の平成24年度教育費予算総括表を御覧いただきたいと思っております。

下の段の歳出でございます。費目ごとに24年度予算と23年度予算の比較並びに主な増減のあった事項につきまして記載をさせていただいております。順に御説明をいたします。

初めに、教育総務費でございますけれども、平成24年度の予算額につきましては12億3,007万5,000円、前年度に比べますと3,863万1,000円の増となっております。主な増加要因でございますけれども、初めに、学校養護嘱託員報酬ということで、学校養護の非常勤職員等が増加をするということで、その報酬経費が増をしてございます。

また、基礎学力向上費ということで、こちらにつきましては前年に比べまして1,318万3,000円の減となっておりますけれども、こちらにつきましては、23年度におきまして、国の35人体制の導入の動きが不透明なため、当初、習熟度別学習のための加配措置が見直しをされるのではないかとといった危惧を持っていたところでございます。そのため、区の単費で習熟度別学習が引き続き維持できるよう予算を上積みして計上した経緯がございます。

今回、国による小学校2年生まで35人学級を拡大する動き、あるいは23年度におきます習熟度別学習予算の使用実績等を踏まえ、23年度上積みをした部分につきまして、24年度は必要ないということで減額をしたものでございます。結果として1,300万円ほどの減とはなっておりますけれども、引き続き習熟度別学習等の実施に必要な予算については確保をしているところでございます。

その下の学校図書館支援事業費、こちらにつきましては、全年度に比べまして802万円ほどの増となっております。

今回、大変厳しい財政状況を踏まえまして、荒川区の教育関係事業の中で新規事業、あるいは充実事業がなかなか打ち出しづらい状況の中でございましたけれども、この学校図書館支援事業につきましては、平成24年度におきまして小学校の大規模校、または言語活動推進研究校、6校程度を対象にいたしまして、現在配置をしております学校図書館指導員のほかに、半年程度、繁忙期に、臨時職員になりますけれども、司書の資格等を持った職員を配置して、それらの学校の学校図書館活動の一層の支援を図ってまいりたいということで、そのための経費を増額したものでございます。

その下の小学校英語教育の推進につきましては806万2,000円ほどの減となっておりますけれども、こちらにつきましても英語教育アドバイザーや外国人指導員の派遣実績の減を踏まえ減額をしたものでございます。したがって、小学校の英語教育につきましても引き続き前年度と同様の教育活動が展開できるものでございます。

次の小学校費でございますけれども、29億713万2,000円。前年度と比較をいたしまして5億4,074万1,000円の減と大変大きな減となっております。

この増減の主なものでございますけれども、校舎整備費が、右側の欄でございますけれども、3億7,307万3,000円ほど減となってございますけれども、こちらのほとんどは前年度、23年度におきまして峡田小学校の運動用用地の取得を行った経費、約2億5,000万円ほどだったと思っておりますけれども、この経費につきまして24年度におきまして既に取得が完了し、計上不要となったこと。

また、23年度におきまして教育ネットワークの更新を行ったところでございますけれども、その更新に当たりまして、イニシャルコストの部分が24年度においては必要なくなったということで、通常の運営経費のレベルに落ちたということで、その部分が減額をされたものでございます。

それから、次の中学校費でございます。38億9,874万8,000円、前年度と比較をしますと10億2,283万8,000円の増となっております。こちらの中心は、尾久八幡中学校の建てかえ工事が2年目を迎え、本格化したことに伴います経費、あるいは25年度の初めの開校に向けた初度調弁の経費を積んだことによります増でございます。

校外施設費1億3,762万円、こちらにつきましては279万5,000円の減となっております。こちらにつきましては、事前に現地の実踏等に出向く教員の旅行日数の見直し等に伴います旅費の減などを中心にいたしまして、小中学校移動教室経費の減によるものでございます。

以下、幼稚園経費や社会教育費並びに社会体育費、それぞれ記載のような状況になってございます。前年度と比較し減額となっている事業もございまして、その大半につきましては先ほど御説明をいたしましたように、前年度実績等を踏まえ精査した結果でございます。

あわせまして、最後に教育委員会の主要事業ということで、学校教育ビジョン及び生涯学習推進計画の体系等に基づきまして記載をいたしました主要事業の予算を含めました一覧を配付させていただきます。

詳細につきましては、次回の教育委員会定例会の際に事業計画の御説明の中で差し上げたいと思っておりますけれども、こちらに記載をさせていただきます学校教育ビジョン並びに生涯学習推進計画に位置づけられております事業につきましては、その一部に経費を精査したことによります減額が生じた事業がございまして、これまで荒川区の学校教育施策の中心となっております学校パワーアップ事業につきましては昨年と全く同額を確保してございます。

また、習熟度別学習、算数・数学・国語大好き 推進事業を初めといたしましたきめ細かな学習支援に対する経費等につきましても引き続き確保しているところでございます。

また、3ページに学校図書館指導員の全校配置、こちらにつきましては、先ほど御説明をいたしましたように、大規模校並びに言語活動研究推進校を中心にしました学校の図書館活動の支援

を行うための臨時職員の配置経費を加え増額をしているところでございます。その他の事業につきましても引き続き現行の事業が継続できるよう予算の確保をしているところでございます。

先ほど御説明を差し上げましたように、全体といたしまして大変厳しい財政状況の中で、残念ながら新規事業並びに充実事業につきましてもなかなか打ち出すことが難しいような状況がございました。

結果といたしましては、学校図書館の指導員の全校配置にかかわる部分につきまして充実を図ったというほか特段大きな金額の増というのはなかなか難しい状況がございました。

私ども事務局といたしましては、当分こういった厳しい財政状況が続くものと認識してございます。前回、教育委員会の主要施策の点検・評価を行った際にも、学識経験者の方から荒川区の教育予算、あるいは教育活動について大変多様な事業の展開をしているといった御評価をいただいております。

今後は、改めてこれまで展開をしておりますこれらの施策につきまして、効果の検証、点検を徹底した上で、その的確な履行をまず基本に考えていくべき状況にあるというようなことも考えているところでございます。

大変雑駁でございますけれども、私からの御説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

○委員長 ただいまの説明につきまして質疑はありませんか。

○青山委員 主要事業については次回ですね。

○教育総務課長 特に何か御質問があれば。

○青山委員 結構です。

○委員長 荒川区の教育事業は、全国的にも注目をされていると思います。その中で特に学校パワーアップ事業であるとか、学校図書館の整備で非常に注目されています。この点に関しては学校パワーアップ事業も同額を確保するし、また、学校図書館についても指導員を配置するということですので、予算が限られている中で非常に努力されているというのがよくわかります。

○教育長 今日8校の中学校をまわってきましたけど、やはり教育内容の充実ということ、つい私たちは平均的に物を見ていくのだけど、その中に上の子もいるし中間の子もいる、その中で特に忘れ去られそうな落ちこぼれさせてしまった子供たちに対して、教科書も出していないような子に対して、何も注意もしないで授業を進めていくというようなことではなくて、1人1人を大切にしていって授業の展開ということが大切になってくる、学校組織全体を挙げて取り組んでいくことが大事だなと感じました。

私自身の責任として今日は本当につくづくそう思いました。1人1人を大切にしていって教育をもう一度、再度確認をしていくということが重要だなと思います。

○委員長 では、よろしいでしょうか。議案第3号について意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 ないようであれば、討論を終了いたします。

議案第3号について異議はありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長 異議ないものと認めます。議案第3号「平成24年度荒川区一般会計予算（教育費）に対する意見の聴取について」は、異議なしと回答をいたします。

次に、報告事項に移ります。「平成23年度文部科学大臣優秀教員表彰の受賞について」説明をお願いいたします。

○指導室長 それでは、「平成23年度文部科学大臣優秀教員表彰の受賞について」御報告申し上げます。

1 趣旨でございます。全国の国公私立学校の現職の教育職員を対象に、すぐれた成果等を上げた教員を対象に文部科学大臣が表彰する制度でございます。

選考基準につきましては4点ございますが、①現に教育職員であって、学習指導・生徒指導等の学校教育活動において顕著な成果を上げていること。②教職経験10年以上かつ35歳以上の者。③推薦者（都道府県知事、教育委員会等）が実施している表彰制度において既に表彰を受けていること。④勤務実績良好かつ過去に懲戒処分等の罰を受けてないこととなっております。

3、表彰式（式典）でございますが、平成24年1月30日月曜日12時15分から14時20分ということで、メルパルクホールで行われる予定でございます。

4、荒川区における表彰受賞者の概要でございます。荒川区における表彰事象者の所属、氏名及び功績内容は次のとおりでございます。

まず、鳥塚眞紀子、汐入小学校主任教諭、49歳でございます。主な功績内容でございますが、英語教育の推進ということで、荒川区の教育研究会で研究を進めるとともに、校内研究において、荒川区立第三中学校と小中一貫教育の実施で、英語教育の中心的な役割を果たして英語教育の推進に努力をいたしました。

また、丸の二つ目のところで、汐入東、汐入小学校から新校を開校に当たって、教育課程の編成、研究の重点、小中一貫教育の推進、学校行事等さまざまな観点からの準備の中心となって学校運営を柔軟に行い、組織のまとまりなどを考えながら新校開校に尽力をしたということが上げられます。

経歴等につきましては下の内容となっております。

裏面を御覧くださいませ。次に、山根宏之、第一日暮里小学校主幹教諭、44歳でございます。主な功績内容につきましては、学校運営の推進ということで、平成21年度より教務主任として、

校長の経営方針の具現化のために尽力をしております。特に丸の三つ目、着任以来、学校図書館の活用と言語力の向上を目指した校内研究に推進委員として携わり、研究発表会の段取りや毎年の先駆的な授業提案等、校内研究に果たす功績も極めて大きいものでございます。

また、荒川区教育研究会体育部の運営委員や社会科副読本の編集委員を務めるなど、全区的な立場で荒川区の教育活動を推進し、その献身的な仕事ぶりは高い評価を得ているところでございます。

経歴につきましては下のとおりでございます。

続きまして、山口優、第九中学校主任教諭、36歳でございます。生活指導の充実ということで、丸の一つ目の4行目あたりから、生活指導面で課題の中で、生活指導主任として、ベテラン教師の意見を聞きながら、若手教師の中心となり、組織的に学校生活の規律の確立に尽力し、改善を図ることができました。

丸の二つ目の2行目あたりから、生活指導主任として学年主任を兼務し、中体連荒川支部理事、中体連サッカー部専門委員長などの激務の中で、意図的・計画的・継続的に生徒指導に取り組み、学校教育の改善に努め、成果を上げたその功績は大きいというような評価がなされております。

経歴につきましては下のとおりでございます。

2枚目の表でございます。大川直樹、原中学校主幹教諭、36歳でございます。こちらも生活指導の充実ということで、2行目、若手教員の模範となり、また、19、20年度は生活指導主任として、21、22、23年度は学年主任、さらに23年度は研究主任として学校運営のリーダーとして主幹の職務を十分以上に果たしております。

丸の二つ目の4行目あたりから、道徳事業の指導力をみずから高め、その成果を校内中に広め、さらに他校でも模範授業も実践し、研究主任としては授業改善のために、授業を見合う研究を進め、教師の授業力向上にも大いに貢献しているといったような成果でございます。

経歴につきましては下のとおりでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長 ただいまの説明につきまして質問などございますでしょうか。

○教育長 昨日、原中の授業を見ましたけど、1人も廊下に出ている子がなくて、きちんと授業を受けていて、感動しました。みんな机に座って先生の話聞きながら授業を受けておりました。

それから、校長先生が、いろんな問題を起こしたことに対しては3時間も4時間も厳しい指導をして、ありがたいなと思いました。

○高田委員 教育新聞を見ていたら、ずっと都内の優秀の表彰者の名前があって、見ていてうれしかったのですが、部門別になっているのですか。

○教育長 生活指導とか評価指導とか。

- 指導室長　そうです。
- 高田委員　なるほど。
- 指導室長　東京都では公立学校で45名の表彰者が出ておりました。その中の4名です。
- 教育総務課長　この数からいったらかなり高い比率ですね。
- 委員長　高い比率ですね。荒川は英語教育に力を入れていますからうれしいですね。
- 高田委員　優秀な先生4人、山口先生だけがまだ練馬と荒川だけだからいずれ出て行ってしまう。
- 教育長　山口先生は、駅伝もすごいです。毎朝走っています。赤土小の子だとか、第三日暮里小学校の子まで走り始めています。九中のグラウンドで朝早く。
- 高田委員　九中のグラウンドも、小学生でもだれでも、近所の人でも走ってくださいと言っていますね。
- 高野委員　注目していたのは、鳥塚眞紀子先生が荒川区の第三中学校と小中学校の一貫教育の実践で英語教育に力を注いだ。中一ギャップですか、それが解決されるのではないかということで前から注目していたのですが、それが表彰されるということは成功したということなのですね。
- 教育長　三中は、今日はすごく落ちついていました。ぴしっと授業をやっていました。それから汐入東小学校は4割から5割がみんな私立に行くそうです。
- 高野委員　でも、全部一貫教育にするといいですね。4割もよそへ行ってしまうのですか。
- 教育長　やはり子供によって違いますから。去年は、峡田からも開成に行きました。
- 委員長　それでは、よろしいでしょうか。予定しておりました事項は以上ですが、事務局より連絡事項等ございますでしょうか。
- 社会教育課長　御手元にチラシがあるかと思えますけれども、平成23年度の荒川ふるさと文化館の企画展ということで、今回は「絵解き　あらかわの浮世絵」ということで2月の11日から3月11日、ふるさと文化館で開催いたします。表紙のこの浮世絵につきましては、真先稲荷の茶屋から見た隅田川ということで、左の真ん中の山につきましては筑波山ということになってございます。

恐れ入りますが、裏面を御覧ください。今回の荒川の浮世絵では、荒川区の歩みの中で失われていった風景を紹介するシリーズ第1弾としまして、今回は当館所存資料及び区民の方々や神社で御所存の浮世絵のコレクションの中からかつての荒川の風景を描いた作品を一挙に公開するという形で、教育委員の高田委員からも貴重な浮世絵をたくさんお借りして、展示する予定になってございます。

また、浮世絵の中に描かれている建物や石碑などの石造物、動植物等の構成要素を読み解くことによりまして、表現されているイメージについても解き明かしていきたいというような企画展になってございます。

写真を見ていただきますと、一番左側は歌川広重の「名所江戸百景 簀輪金杉三河島」、また、真ん中のところにつきましては同じく歌川広重の「東都名所 日暮里春霞」、こちらに満光寺所蔵というように書いてございますので、高田委員からお借りしたものでございます。こういったものを紹介していきたいと考えてございます。

また、下の記念講演会というところを指で触っていただきますと紙が凸凹しているのですが、当初、立正大学名誉教授の国際浮世絵学会の会長の山口桂三郎さんに記念講演をお願いしていたのですが、残念なことに1月17日に83歳で、心不全で急にお亡くなりになりましたものから、急遽変更をさせていただきます、当文化館の学芸員である亀川と野尻によりまして、浮世絵に表現された風景という形に変えさせていただきました。

ですから、シールを急遽張らせていただいたというような形になってございます。

また、その下の浮世絵すり師体験ということで、2月12日と3月11日に開催をする予定でございます。こちらにつきましては荒川区伝統工芸技術保存会の松崎啓三郎さんの親子でやっていただくということで2日間予定しておりましたが、3月11日が荒川区の産業展が開催されるということで、松崎さんにつきましては産業展に出展することになりましたので、2月12日は松崎さんをお願いしますけれども、3月11日につきましては、もう1人川嶋秀勝さんというすり師の方がいらっしゃいますので、その方に11日はかわっていただくというような形になってございます。

また、2月25日の土曜日は、同じく当館の学芸員によりましてギャラリートーク等を実施する予定でございます。

大変申しわけございませんけれども、また図録ができてございませんので、図録につきましては次回、皆さんにお見せできるかと思っております。

こちらが平成14年度の企画展で、同じように浮世絵を行ったものです。こういった形で何点か浮世絵を載せさせていただいたのですが、今回はなるべく大きく浮世絵を入れて図録をつくるという予定になってございますので、次回御披露したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○教育長 参考までですが、2番目に「江戸名所道外尽道灌山虫聞」というのがあります。これは蛍が飛んでいて、ひっくり返っているでしょう。何でひっくり返っているかという、蛇が出てきてひっくり返っているのだそうです。

○委員長 蛇がですか。

○教育長 蛇が出てきてびっくりして、ひっくり返ったということです。

それから、今、この浮世絵はすごく値上がりしているそうです。中国の方が買いつけていて

100万円、200万円の値がついているそうです。

○高田委員 うちにあるものは安いですが、いいものは本当に高いです。

○委員長 投資しているのです。投資の対象ですね。

○青山委員 これで見ても満光寺のが一番いいですね。

○高田委員 こんな大きく見えますが、短冊だからこれは小さいですよ。

○青山委員 「日暮里春霞」、いいですね。

○高野委員 全体の構図がすばらしい。

○青山委員 こういうものを毎日眺めているのですか。

○高田委員 眺めているのもあるし、しまつてあるのもある。

○高野委員 まだあるのですね。

○高田委員 十何枚です。本になっていつでも見られるのです。これ、おもしろいですよ。この隅田川の窓から、石浜から見た筑波山で、この裏のは千住大橋の上から筑波山を見ているでしょ。同じ川のように見えて全然違うのです。

この小さい千住大橋から見た川というのは、帆かけ船の左に榛木山という五中の辺なのです。五中の辺を通過して、尾竹橋の方から筑波山を見ているのだけど、こっちは全然川下の方で、汐入から向島の方を見て、それで、この川は蛇行しているようだけれど、これは隅田川じゃないのです。関谷の方に行く綾瀬川。この位置から見ると川は左へ行っているはずなのです。梅若の方が見えるのだから、そっちの方に川が行っているわけがないので。

○教育長 これは、綾瀬川ですか。

○高田委員 関原の方に綾瀬川という川があったのですが、放水路ができたので、今は水門だけになってしまったのです。これはそっちの方の川です。絵解きと書いてあるのを、ふるさと文化館の館長さんが、初めにみんなにこの絵の説明をしながら展示するのだそうです。

○青山委員 こういうものでそういうことがわかるわけですか。

○教育長 この辺でシジミをとったりしたのですか。

○高田委員 ここはシジミが相当とれたそうです。新開橋のところ、今の足立区の方ですが、シジミは物すごくとれたのです。

○委員長 よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして、教育委員会第2回定例会を閉会いたします。

—了—